

医師、医療・介護スタッフの確保に全力をあげ、医療生協を発展させよう

組合員現勢

(10月31日現在)

- 組合員 14,527人
- 出資金 34,819万円
- 一人平均 23,969円



千曲川のにじ

発行 / 東信医療生活協同組合 〒386-0042 上田市上塩尻393-1 TEL 0268-28-1085 FAX 0268-28-6085 E-mail sosiki@dolphin.ocn.ne.jp

- | | |
|--|--|
| ■ 上田生協診療所 TEL 23-0199 FAX 23-0449
http://www.toshin-iryuu.com | ■ 上田生協訪問看護ステーション TEL 22-3055 FAX 23-5311 |
| ■ 川西生協診療所 TEL 31-1411 FAX 31-1416 | ■ ヘルパーステーション“にじ” TEL 29-2811 FAX 75-2595 |
| ■ さかき生協診療所 TEL 82-0101 FAX 82-0102 | ■ 元気倶楽部 まゆ(通所介護) TEL 22-3248 FAX 75-2595 |
| | ■ 居宅介護支援事業所 TEL 23-0244 FAX 23-5311 |
| | ■ 悠々倶楽部 かみしな(通所介護) TEL 22-5445 FAX 75-8629 |

創立25周年記念

第23回 健康まつり

900人がさわやかに交流

希望、笑顔、元気 未来に向かって

新たな地域のつながりを



祝い餅つき
第1打を振り上げる
岩下智和 初代理事長



上田高校吹奏楽班の演奏

は、東信医療生活協同組合先達の方々によって、杵音高くとりおこなわれ、会場の皆さんに振舞われました。わくわくゲーム大会では、一等を引き当てた方には、別所温泉ペア泊招待券が贈られました。

「未来に向かって新たな地域のつながりを」のテーマのもと、「第23回健康まつり」が、10月28日(日)上田市塩尻小学校体育館内外で開催され、およそ900人が参加、終日楽しい笑顔の交流が広がりました。

上田高校吹奏楽班による「風がふいている」など、明るく軽快な演奏がオープニングをかざり、西澤弘行実行委員長の挨拶、甲田隆上田診療所長の「動脈硬化による内臓の病気の講演のあと、支部グループによる琴やコカリナの演奏、ダンス、歌、踊りなどがステージを飾りました。

「未来に向かって新たな地域のつながりを」のテーマのもと、「第23回健康まつり」が、10月28日(日)上田市塩尻小学校体育館内外で開催され、およそ900人が参加、終日楽しい笑顔の交流が広がりました。

医療生協強化月間 順調にすすむ 診療所新築へ期待の声圧倒！

新加入で塩尻、菅平など 出資金で新田、浦里などが目標到達

新築事業の展開へ検討すすむ

医療生協強化月間は、9月の「千曲川のにじ」に上田診療所の新築、移転構想が掲載されたこと、各支部の支部ニュースでの訴え、支部と職員とのペア行動も生まれ、役職員、医師の一体となった取り組みの強化により、例年以上の成果を積み上げて順調にすすんでいます。

11月5日現在、新加入で塩尻、菅平支部が、出資金で塩尻、浦里支部が目標到達をするなど、他支部を激励しています。



支部長理事合同会議の様子



上田診療所 10月から吉野友康 医師着任

【ごあいさつ】 富山県出身で大学卒業までは富山県で、働いてから19年の半分以上は他県8ヶ所を転々としていました。4年前から家族で千曲市に引っ越し、現在千曲市に家を建築中です。家族は、妻と子供3人（長女・高校2年、長男・小学2年、次男5歳）です。趣味は、熱帯魚飼育などです。

これまでは消化器外科医として仕事をしていましたので、消化器疾患（胃・腸・胆石・脱腸など）に関することとお聞きになりたいことがあればご相談ください。皆様のお役に立てるよう働きますのでよろしくお願いたします。

2人の医師着任に よろこびと期待の声

上田診療所へ、9月に日比優一医師、10月に吉野友康医師（常勤）を迎えたことは、組合員訪問活動のなかでも大歓迎され、診療所新築とともに今後への明るい展望が開けてきた、と強化月間を盛り上げています。

強化月間の到達点

〔11月14日現在〕

- 新加入組合員 329人
(目標比41%)
- 出資金 15,156,000円
(目標比63%)
- 出資件数 1,526件
(目標比84%)

班会をはじめ、まちかど健康チェック、配布者のつどい、諏訪湖ウォーキング（72名参加）など

の活動も強化月間を支える大きな柱となっており、「原発ゼロ」署名もすすんでいます。

月間成功へ向け、支部長、理事合同会議ひらかれる

11月5日（月）夜、終盤を迎えた強化月間の成功へむけて、支部長、理事合同会議が開かれました。冒頭10月から着任された吉野友康医師があいさつをされ、拍手に包まれました。

会議は、月間前半の総括的な意見交流がなされ、塩尻、浦里支部など先進支部からの教訓的な報告に学びながら、強化月間の成功に向けて最後まで奮闘することが申し合わされました。

尚、都合で欠席した菅平支部倉橋支部長のメッセージが代読され、感銘を与えました。

倉橋さんは、「診療所は遠くてもかれない、組合員になっても意味が無い」という人が多い菅平で、自らが肺がんになり、摘出手術を受けた経験を語り、「ガンは恐くない、早期発見が大事だよ、医療生協に入って早期発見ですよ」と言って健康ニュースをつくり、訪問活動をつづけ、3人に新加入していただきました。「私が元気になっていることが周りの人の励みになっているような気がします」と結んでいました。

「福島原発事故の現状と今後について」

福島浜通り医療生協理事長

伊東達也氏が講演



伊東達也氏

講演会は東信医療生協主催で十月六日しんきんホールで開かれ組合員96名が参加、被災地福島からの話を真剣に受け止めていました。

被災時の必死の対応状況

講師の伊東理事長は、原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員でもあり、福島県で早くから福島

地震を引き金にした過酷事故であり、日本歴史上最大にして最悪の公害をもたらしていると次のような実態を明らかにされました。

訴え続け、2007年の中越沖地震で柏崎刈羽原発が地震被害を受けた後は、福島原発の具体的な安全対策を要求してきたと自己紹介され、理事長を務める浜通り医療生協は三月十一日、被災者でもある職員達が溺死者やけが人の対応を必死で行ったこと、原発事故発生後には出勤できない職員が多数出る中、少ない職員間で意思統一を図り患者さんに思いを寄せ献身的な働きをしてきたと、当時の大変な状況から話を始められました。

日本歴史上最大にして最悪の公害

福島原発事故は、世界初めての

①被害が桁外れに深刻である（16万人が人生を根本から狂わされていること、さらに放射能への対応の違いが強いストレスと無用な対立をもたらし、原発からの距離や放射線量、さらに賠償額の違いによる県民の対立が強まっている）②被害が広範囲である（除染を援助する地域は8県104市町村に及んでいる）③被害額が桁外れに大きい（財務省幹部はすべての被害額を総計すると100兆円あっても足りないとしている）④元の場所に住めない人が大勢いる（政府も20年間は帰還できないとし、被災者の30%が戻る意志がない）と、その深刻な状況を報告されました。

復旧・復興は住民本位で

続いて復旧・復興に話を移され、住民本位に考えると、①避難者を

含む福島県民への環境汚染対策、健康管理、啓蒙・教育、子育て支援、被災者支援などにつき総合的考えられていない、②東電の助成が無中で、測定器の不足と人材不足により健康調査が非常に遅れている、③生活空間全体に対し効果的な方法が定まっていない除染、東電の汚染土の処理保管場所の確保に対する無責任な態度、④賠償を電と政府への対応として裁判闘争が必要、⑤福島県59市町村のうち51議会で廃炉決議がなされたにもかかわらず、東電・政府とも福島県は放射能と健康の研究、放射能汚染や除染の検討と普及、放射線防護学の知識を持った医療や教育や福祉などの人材養成が必要、などの問題点があり、これらの解決に努力すべきだと指摘されました。

安全神話と情報隠しに怒り

政府、電力会社、特定の学者が、原発は絶対安全と主張してきた「安全神話」に関し、「原子力を考える日」事業により子どもたちがいかに安全神話に納得させられていたかを、彼らの作文を紹介するなかで明らかにされ、作文を書いた子どもは今どんなに苦しんでいるだろうかと話され、多くの国民

にこのことを考えて欲しいと訴えられました。ついで、原発事故と被曝について触れ、県民の被曝が政府の情報隠しによるものと強く抗議されました。しかし一方で、事故後避難するかどうかをめぐり、地域の草の根学習会が開かれ、国が示した子どもの高すぎる被曝許容量への怒りが湧き起こり、一部の市町村による除染の動き、さらには国の基準の変更や政府の被曝許容量を下げさすことにまでなつたと話され、運動の重要性を訴えられました。

自然エネルギーへの転換が急務

最後に、原発をどうするかに触れられ、このことは日本のエネルギー政策と社会をどうするかにかかわっているが、財界と電力会社の利益確保という原発利益共同体が絡んでいることを知る必要があると、その実態を明らかにされ、自然エネルギーへの転換が急務であること、そして原発のない長野県で原発ゼロへの運動が大きくなることを期待したいと強調され話を終わられました。

なお、参加者からは福島県がどのような状況なのか、何をすべきかが聞けてよかった、など多くの方から感想が寄せられました。

（理事 奈倉正宣）

【祝い餅をついていただいた方々】

岩下 智和 初代理事長(表紙写真)
 高村 京子 初代婦長・県議会議員、櫻井 利市 2代目理事長
 甲田 隆 上田診療所長、渡辺 昭夫 元川西診療所長
 松澤 伸洋 さかき診療所長、西澤 弘行 現理事長
 ☆祝い餅は参加者に振る舞われました☆

健康まつり スナップ集

10月28日塩尻小学校で行われた健康まつりの、支部、職員の腕自慢、味自慢、音自慢の様子を掲載します。



高遠和秋 元顧問



工藤俊樹 2代目理事長



柄澤義郎 初代専務



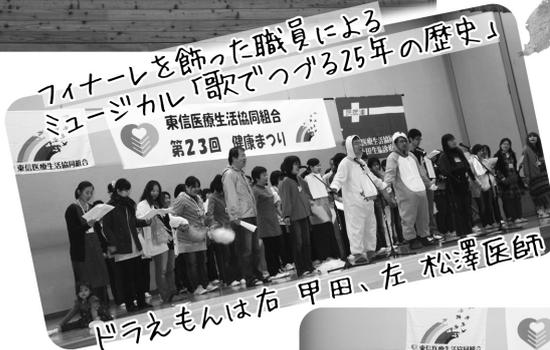
祝い餅つき大会出場の皆さん



青木村義民太鼓の演奏



コカイト演奏(天の川)



「ファイナルを飾った職員によるミュージカル「歌でつづる25年の歴史」
東信医療生活協同組合 第23回 健康まつり
ドラえもんは右 甲田、左 松澤医師



開会挨拶をする西澤実行委員長



講演する甲田所長



フラダンス(塩尻支部)

ステージの様子



さっぱい小唄踊り(塩尻支部)



健康体操(健康づくり委員)



大正琴の演奏(新田支部)



健康チェックコーナーは賑わいました



パネル展示コーナーは「25年の歴史」や支部、職場の様子が伝わりました。



子どもジャズダンス(ナチュラレムーブメント3・2・1)

出店コーナー紹介



うまいきの二汁・城下西



いい香りイワナにヤマメ焼き、釣りの会



川西はそばすいどん



売れる被災地支援物資



元祖やきそば、味かけんは...塩尻



浦里はおでんだよ



青木村の野菜



川辺は大福に手づくり鉢



神科北は夢よぶバザー



果物は東御市



こちらはバラよ 坂城南



鉢花は坂城北



北部はお抹茶あやめ庵



西部は飲み物



おやきは元祖新田

この他の出店... 豊殿、川辺2、真田町でも新鮮野菜・果物を出店しました。
 東部はお餅、おはぎは塩田。フランクフルト・ジャムは職員ジャンボリー。
 城下東は花の苗。労協長野は飲料、新婦人はコーヒー。
 元気倶楽部まゆ、悠々倶楽部かみしなでは、利用者の作品展、バザーを行いました。

創立25周年にあたって

今回は、初代上田生協診療所長として活躍された故小林秀雄医師が、創立十周年に発刊された「十年のあゆみ」に寄稿された文章を慎んでそのまま掲載させて頂きます。

*小林秀雄氏1999年当時、上田診療所長。2005年3月年逝去。

「上田に患者と共に歩む民主的な医療機関がほしい」という地域の声にこたえて、長野県民医連が私を上田診療所の医師に内定したのは、開設一年前でした。

大きくなっても基礎は班活動

小林 秀 雄



当時私は長野中央病院に勤務していましたが、週1回は上田へ来て、班会や保健大学、医療講演等に参加しました。一足早く開設準備に取り組んでいた高村、依田、斉藤、小林孝さんらと共に、のべ50回以上の班会に参加し、500人以上の皆さんとお話を交わしました。そこで出された次のような意見や要求が、その後の医療活動の柱になりました。



第1回通常総代会で挨拶する
岩下智和初代理事長 1988年5月

- ① 医師一人でも、休日や夜間の対応をする。
- ② 働く者がかかりやすいように夜間外来をする。
- ③ 健診・ドックを充実させ、働く者の健康づくりや予防医療を重視する。
- ④ ひとつの疾患にとらわれず、全身管理をし一病息災を旨とす。
- ⑤ 待ち時間を減らすため、完全予約制とする。
- ⑥ 在宅医療にも積極的に取り組む



【写真左】上田生協診療所 1988年11月開設



【写真右】オープン当時の岩下理事長（右）と小林所長

有床診療所となり入院ができるようになる、医療の幅が広がりました。病室がないため、他の病院へ紹介していた老人の肺炎や、糖尿病のコントロール不良患者等も、当所でできるようになりました。胃癌や大腸癌、大腸ポリープ等、これまで開腹手術をしていたような症例も、入院してカメラで



川西生協診療所開設 1996年6月
横山さん宅を借り、スタッフ4人でスタート

手術できるようになりました。肛門の手術はもちろんです。癌の末期でも、いつでも入院できる安心感と、疼痛緩和ケアの進歩で在宅のままお世話できる症例もふえています。先日も肝臓癌の末期の方が、よびよせた家族とゆっくり話し合った翌日、静かに息をひきとられました。

今10年をふり返ってみると、組合員も一万名をこえ、上田診療所・川西診療所・訪問看護ステーションと事業拡大もすすみ、来年は坂城に診療所を開設する予定です。しかし、どんなに大きくなっても、医療生協の基礎は「班活動」です。職員も班会に参加することで、学ぶことがたくさんあります。新たな気持ちで、班活動に取り組むたいと思っています。

(1999年6月)

第11回 共同組織活動交流集会 in 岩手

被災地で学んだ「行ッテ」の心

賢治の世界観」と題して話され

9月2日、岩手県の花巻に、全
国から1800人を超える共同組
織の仲間が集まりました。昨年予
定されながら、東日本震災と福
島第一原発事故で延期され、一年
後ようやく実現した交流集会は、
「いま、いのち輝く新しい福祉の
国づくり 雨ニモマケズ、風ニモ
マケズ、震災ニモマケナイ、誰も
が安心して住み続けられるまちづ
くりを」をメインテーマに開催さ
れました。

全体会では、大きな被害を受け
た陸前高田市の水上太鼓の力強い
演奏で始まりました。記念講演で
は三上満氏が「震災に生きる宮沢

ました。厳しい自然環境の岩手で
生まれ育った宮沢賢治。全ての生
き物の命を慈しみ、みんなの本当
の幸いをもとめてひたむきに生き
た賢治の考え方が、3・11以降を生
きる一つの手がかりとして大きく
注目されていることを学びました。

なかでも「雨ニモマケズ」の詩
の中に書かれている「行ッテ」の
思想は、被災地を始め、多くの困
難を抱える地域に寄り添い地域に
出かけて行って、安心して住み続
けられるまちづくりをめざす私た
ちの考えに通じる優れた考えであ
るを知り、感動しました。

翌日の分科会でも多くのことを

日本高齢者大会 in 高松

日本高齢者大会は10月10日・11
日に高松で開かれ、当生協から1
名が参加しました。

1日目は分科会
と移動分科会、夜

の部もありました。2日目は全体
会で、講師・田辺鶴英さんの介護
奮闘記―笑いの中にも、新たな発
見と挑戦のある―の一幕と各地で
の高齢者の取り組みが報告され、
大会決議で終了しました。大会参
加者は、延べで5000人を超え、
高齢者のたまたかいの前進を誓い合
いました。来年は三重県です。

(理事長 西澤弘行)



熱演する田辺鶴英さん

学びました。東信でも支援にかけ
つけた松島医療生協の力強い復興
に向けた取り組みや、地域の困っ
ていることをどーんと引き受けて
活動する神戸医療生協の活動など
が特に印象的でした。この会が
きっかけで、健康まつりで支援物
資を売るなどのつながりが持てた
ことも大きな収穫でした。被災地
に想いをはせながら、東信の活動
を力強く進めていこうと思います。
(常務理事 坂井弘子)

さよなら原発行動

9月15日、さよなら原発「3・11
つながるパレード」が上田市お城
下公園で開かれ、200名が参加、
集会後デモ行進を行いました。

11月10日「原発はいらない上田
駅前集会」が開かれ、原発再稼働や
オスプレイ配備に強く抗議しまし
た。11

日の原
発をな
くす全
国10
0万人
一斉行
動に呼
応した
もので
す。



上田駅前集会での訴え(11月10日)

理事会報告

第8回理事会 9月28日午後1時半

報告事項 ①10月からの診療体制。②

長野県生協連福島視察報告。③全国民

医連共同組織活動交流集会報告。④上

田市高齢者介護課との懇談報告。⑤

10・6「東日本大震災、原発事故から何

を学ぶか」講演会。⑥10・7全日本民

連「医・食・住・環境」シンポジウム。

⑦命と健康を守る10・17国民集会。

協議事項 ①強化月間について。②新

規事業展開について。③土地問題につ

いて。④健康まつりについて。⑤医療

機器購入を承認(下部内視鏡スコープ

一式)。

第9回理事会 10月20日午後1時半

報告事項 ①10・6伊東達也氏講演会

の報告。②12年度医療福祉生協連の下

期重点課題について。③11月からの診

療体制について。

協議事項 ①強化月間到達点と、今後

の取り組みについて。②健康まつりに

ついて。③新規事業展開について。④

パートタイマー職員の就業規則改正

について。⑤再雇用規則改正とパート

職員再雇用規定の創設について。⑥理

事会人事について(関崎岩雄常務理事

辞任承認)。⑦医療機器購入を承認

(川西診のCRシステム及び、上田診

自動血球計数CRP測定装置)。⑧労

組秋闘要求取り扱いについて。

関信越組合員活動交流集會に参加して

「原発ゼロ！ 安心して生み育て、住み続けられるまちづくり」のテーマで9月12日・13日、関信越ブロック組合員活動交流集會が被災地・茨城県大洗町で開催され、当生協から11名が参加しました。3人の感想文要旨を掲載します。

震災復興・ 原発ゼロの運動を痛感

荒井 よね（緑が丘）

実行委員長が歓迎のあいさつで、「昨年の大震災の復旧・復興が遅々として進まず、いまだに岩手、宮城、福島の人たちが、仮設住宅や借り上げ住宅で避難生活を強いられています。福島原発事故は収束もできず、放射能汚



信越ブロック交流集會参加者のみなさん

染で住民は故郷を追われ、家族も離れ離れの生活を余儀なくされています。

ここ大洗から20kmのところに関東・信越ブロックには、茨城の東海第2原発と新潟県に柏崎刈羽原発があります。

本日テーマ「原発ゼロ、安心して生み育て、住み続けられるまちづくり」に向け、二度と福島をくり返させない、福島を忘れないために、震災の教訓を生かした組合員活動を交流し、実りある集會にしたい」と述べられた話は、はつきりと歯切れがよくて納得できるお話でした。

地域のたまり場

「わいが家」に学ぶ

山口 福代（新田）

私が関心を持ったのは、ながおか生協の取り組みの「わいが家」です。

わいわいがやがや大勢の方に利

用してもらいたい、それで「わいが家」だそうです。

わいが家のめざすところは、地域のお茶の間、健康増進の場所、支部の活動、班会・各種イベント、一人で家で過ごすならわいが家へ行こうかなと思える家、人と人との絆づくりの場、だそうです。

現在4ヶ所にオープンしているそうです。とても素晴らしい活動だと思いました。簡単に出来る事ではないですが、私達の地域でもお年寄りの方が気軽に楽しく過ごせる家ができれば良いなあと思いました。

ナターシャさんの

歌とトークに感動

齊藤 百合子（浦里）

チェルノブイリ原発事故の被爆者、ナターシャ・グジーさんのコンサートでは、日本のために自分の経験を話し、精一杯頑張っている姿に感動し、聞いたこともないような美しい声に聞きほれました。気の遠くなるような長い年月のたたかいが日本でも始まったのだと改めて思いました。

分科会の交流は、悩みを共有できるうえ新しいアイデアをたくさんもらえるチャンスだと実感しました。年齢は問題ではなく、各年

齢層の心をどうキャッチし、よりよい方法は何かを具体的に考え、実行してみることが重要だと思いました。

地域のいろいろな人とのつながり方や健康づくりのための具体的な方法については、「何でもやってみよう」という勇氣と元気をいただけた素晴らしい交流集會でした。

人 事

〔採用〕

花岡 いずみ

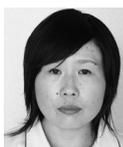
10月1日付



理学療法士パート
元気倶楽部まゆ
東御市在住

古屋 真希子

9月18日付



介護福祉士パート
居宅介護支援事業所
ケアマネージャー
上田市在住

日比野 一里

9月18日付



介護福祉士パート
居宅介護支援事業所
ケアマネージャー
坂城町在住

藤森 和瑞

10月16日付



放射線技師パート
上田診療所
長野市在住

健康レポート

神科支部

「悠々倶楽部かみしな」で 感謝デーを実施

9月23日(日)神科北支部の主催で開設1年を迎えた「悠々倶楽部かみしな」で『感謝デー』と題し、地域のみなさんに感謝の気持ちを込めて「かみしな」の見学会と健康チェックを体験して頂くことと初めての取り組みが行われました。雨天の中、15名の方に来て頂くことができました。地域の方に医療生協を知ってもらい、医療生協の輪が広がり繋がるような画期的な一歩となりました。



神科北支部
悠々倶楽部かみしな 感謝祭にて

真田町支部

乳がんチェックをしました

ピンクリボン月間の10月22日に真田町支部の健康バランス班で乳がん触診モデルを使い、乳がん



真田バランス班会
乳がんチェック

チェックを行いました。みなさんはしこりの硬さや凹タイプの癌など様々な乳がんの症状に驚きの様子でした。各支部でも班会や運営委員会などで取り組みましょう。

さかき診療所

第10回

健康のつどい



坂城中学校吹奏楽部の演奏

2012年国際協同年イベント



上小JAフェスティバルの様子

長野県協同組合フェスティバルが9月9日、エムウエーブで開かれ、東信医療生協は参加者の健康チェックを行いました。

上小地区協同組合まつりが9月15日、上田市国分のJAN! JAN! タウンで行われ、当医療生協は健康チェックコーナーを受け持ち10人の職員、組合員が対応しました。

さかき診療所健康のつどいは、10周年を記念して9月16日、坂城町文化会館で開催されました。会場は200名以上の参加者で埋まり、坂城中学校吹奏楽部による演奏、松澤所長の講演をはじめ、組合員・職員による楽しい舞台出演が会場を沸かせ、バザー・売店などで終日賑やかな交流が行われました。

ポランティア研修

交流会に上伊那へ

9月29日(土)上伊那医療生協の小規模多機能住宅支援施設「なないろの家」の見学と、地元組合員との交流会を目的にポランティア交流会が行われ38名が参加しました。交流会では東春近支部で「なないろの家」建設が決まり、強化月間中に新加入212人の成果があったことなどの話を聞き、大いに参考になりました。

諏訪湖周遊ウォーキング に73名参加

11月3日に諏訪湖周遊ウォーキングがありました。初めての東信医療生協主催の諏訪湖ウォーキングに職員・組合員合わせて73名が参加しました。



諏訪湖周遊ウォーキング参加者のみなさん



短歌

両角好枝(坂城北・98歳)

承らえて

今さら思ふ親の恩

五体満足いただきてこそ

空すみて

風さわやかな初秋にて

やがて稔りの秋はちかづく



藤原美津子(東部)



中島ますみ(東部)

さわやかパズル

第 36 回

クロスワードを解いて二重枠に入る文字を並び替えると一つの言葉になります。その言葉が答えです。

⑦ ヒント

ここより日本海と太平洋へ分かれる

夕テのカギ

① 和布(わかめ)など海藻の根の俗称。

② 雪のような色。〇〇クロをつける。

③ 主要道路に面した宅地1平方メートル当たりの評価額。国税庁が決定する。

④ 日本庭園で、手洗鉢やかめを利用した音響装置。落ちる水が反響して琴の音色に聞こえる。

⑤ 荷札。値札。商品値段、製造元などを記した札。

⑥ 土木工事用の運搬手押車。主に山で使われている。

⑦ 紅やおしろいをつけて顔を美しく見えるようにすること。〇〇

〇〇水。〇〇〇〇台。

ヨコのカギ

① 太宰治の代表的小説「走れ〇〇」。

② 屋根からの雨水を受けて地上に流す溝状、筒状の装置。

③ 地を掘って人工的に水をためたところ。

④ 家事の手伝いのために雇われる女性。家事援助者。

Grid for the crossword puzzle with numbered squares 1-14.

- ⑩ わかれること。〇〇〇点。
⑪ 「北風小僧の〇〇〇〇」。
⑫ 歌に合わせて舞わせるあやつり人形。傀儡(かいらい)ともいう。
⑬ 言葉の調子。漢字で呂律と書く。〇〇〇が回らない。
⑭ 70歳のこと。〇〇〇の祝い。

★答えはハガキで。正解者の中から抽選で5名の皆さんに図書券を贈呈します。住所・氏名・答え・ご感想などを添えて、東信医療生協編集委員会「さわやかパズル」係までお寄せ下さい。
★締切は、12月20日。
※前回の答えは、「トウカイジン」でした。

第35回 パズル当選者氏名(敬称略)
上野祥子(豊殿)、大口克夫(神科南)、太田マリ子(塩尻)、笠原恵津子(東部)、竹前愛子(坂城南)。

講演会

憲法「改正」の動きをどう見るか

- 講師 滝澤修一氏(弁護士)
日時 12月8日(土)午後1時半~4時
会場 上田市中之条 城南公民館ホール
参加費 300円(資料代など)
主催 上小地区「九条の会」連絡会
☎26-2772(赤羽)

編集後記

上田生協診療所の新築、移転という新しい展望に向かって、挙所一体となった組合員、出資金増やしの月間が取り組まれていきます。菅平支部長の倉橋純子さんは、自らの肺ガンとたたかいながら、その体験を語り、「ガンは怖くない。医療生協に入って早期発見ですよ」と健診を勧め、地道に訪問活動が続け、新加入を増やしています。
▼人間ドック・健診は上田市内の医療機関の中で、当診療所が最多の受診者数で、高い評価を得ていることは誇るべきことです。健康まつりでは、25周年の先達の方々にお餅をついていただきました。杵の一振り一振りが歴史を刻むようでした。新しい施設が花咲き、多くの皆さんに幸せが届けられるように祈念。



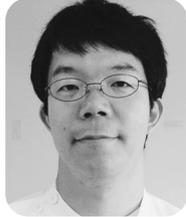
東信医療生協診療所 診療担当医師紹介 (2012年11月より)

☺☺☺ 医師団は みなさんの健康を守ります ☺☺☺

◆ 常勤医師 ◆



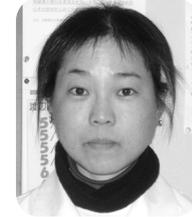
甲田 隆
上田診療所長
◆循環器内科



松澤 伸洋
さかき診療所長
◆呼吸器内科



吉野 友康
◆消化器外科



白井 理恵
川西診療所長
◆内科



渡辺 昭夫
◆内科
(主に糖尿病)

医療生協診療所医師については、他に診療担当表(12頁)に記載の通り、非常勤医師の支援をいただいております。どうぞよろしくお願ひします。



在宅診療の紹介

住み慣れたご自宅で
療養したいとご希望の方へ

自宅で暮らしたいを応援

患者さまがご自宅で健やかな日常生活を送っていただけるよう支援します。

特徴 定期診察が基本

訪問診察を希望される方は在宅支援室へご相談ください。

特殊処置も可能

がんの末期の方や、在宅酸素療法・人工呼吸器装着の方にも訪問診察を行っています。胃瘻(いろう)や尿道カテーテル留置など特殊な処置を必要とする方の相談にも応じています。

医療と介護の連携

上田生協診療所では、法人内で訪問看護・訪問リハビリ・通所施設やヘルパー訪問といった連携が可能です。ケアマネージャーもご相談に応じます。地域で在宅医療を支援するため、他の施設の訪問看護やケアマネージャーとも連携しています。



送迎ボランティア

笑顔の仲間 募集中!!

- ☆ 外来患者さんの送迎です
- ☆ 月に2回から4回できる方
- 一人暮らしや高齢で運転ができない患者さんに手をさしのべてください

〔連絡先〕 ボランティアグループ
ゲンキー

担当：野崎・本間

TEL 0268-28-1085

インフルエンザ予防接種予約開始



10月から12月まで、インフルエンザワクチンの接種期間となります。接種を受けてから抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果は約5か月持続するといわれています。インフルエンザ流行が始まりますと予約が混み合います。早めの接種をおすすめします。

★ 65歳以上の方・特定の疾患の方 自己負担額 1,000円

★ 任意接種の方

大人 組合員 2,500円 一般 3,500円

未就学児 組合員 2,000円

※詳細は受付までお問い合わせください。

電話で予約を

生協診療所 診療担当表

2012年
11月~12月

保険証と各種受給者証の確認を毎月行っています。受付時にご提示をお願いします。

□上田生協診療所

☎ 23-0199 ☎ 23-0449

時間・内容		曜日	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~ 12:00	ドック・健診		矢部 (第1,3) 吉野 (第2,4,5)	渡辺	松澤	吉野	吉野	長野* (隔週)
	外	1 診	甲田	松澤	甲田	甲田	甲田 (第1,3)*	松澤 (第1,3) 吉野 (第1,5) 甲田 (第2,4,5)
		2 診	三浦 (第2,4)	渡辺	松澤	渡辺	松澤	
	来	3 診	松澤 (第5) 吉野 (第1,3) 矢部 (第2 乳腺)	日比 (大腸肛門)		成田 (乳腺)	日比 (隔週) (大腸肛門)	渡辺 (第2) 吉澤 (第3) 大島 (第4)
		胃内視鏡		矢部 (第1,3) 吉野 (第2,4,5)	弾塚	吉野	吉澤	吉澤・小島 (1回,3回)
往 診					松澤	甲田 (第2,4)		
午後 15:00~ 17:00	外 来		甲田 松澤 (第5) 吉野	吉野 日比 (大腸肛門 または内視鏡)	松澤 (隔週) 吉野 (隔週)	渡辺 矢部 (乳腺) 吉野	吉野 (第3以外)	休 診
		大腸内視鏡			日比 (外来と交代)		壇原 (第2,4)	
	往 診			松澤 (第4)	松澤		松澤	
夜間 17:00~ 19:00	外 来			渡辺	甲田 市川 (隔週)		前角 (隔週) 吉野 (隔週) 甲田 (第1,3,5) 松澤 (第2,4)	

※ 金曜日午前外来 甲田医師担当 2・4週は10時まで 長野* = 長野中央病院より支援 土曜日ドック内視鏡は檀原、中島

□川西生協診療所

☎ 31-1411 ☎ 31-1416 有線 2166

時間・内容		曜日	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~ 12:00	外 来		渡辺	吉野	矢嶋	臼井 (往診)	渡辺	休 診
		午後	往 診	渡辺			渡辺	

※ 訪問看護：月~金曜日 午後

□さかき生協診療所

☎ 82-0101 ☎ 82-0102 有線 82-0101

時間・内容		曜日	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~ 12:00	外 来		松澤 (第1,2,3)	甲田	休 診	矢部		休 診
		午後 16:00~ 18:00	往 診	松澤 (第1,2,3)		甲田	甲田	
							甲田(第2,4予約のみ)	

※ 胃カメラ検査はさかきでは休止となります。胃カメラ検査、人間ドックは上田生協診療所でご予約ください。

【事業所の連絡先】

上田生協訪問看護ステーション TEL 22-3055
ヘルパーステーション“にじ” TEL 29-2811
元気倶楽部 まゆ (通所介護) TEL 22-3248

居宅介護支援事業所 TEL 23-0244
悠々倶楽部 かみしな (通所介護) TEL 22-5445